

●表紙イラスト

鶴田一郎(1954年 本渡市生まれ)

表紙のことば
さわやかな風の中また新しい気持ちになれそう
な季節になりました。女性はいつまでもピュアで
いてほしいと思います。
一年間ありがとうございました。

●シーン'89撮影 神原陽一

球磨川の橋から落ちる水しぶき。確かな春の息
吹を感じました。

編集後記

今回の元気図鑑は龍ヶ岳町。文字どおり元
気一杯のページになりました。ところで、龍ヶ
岳町は県の広報コンクール（熊本日日新聞社
主催）で2年連続グランプリに輝くという県内
でも特に広報に力を入れている町です。その
腕前を充分に發揮してくれた岩本さんと龍ヶ
岳の皆さんに拍手。

一年間お楽しみいただいた鶴田一郎さんの
表紙も今号が最後。一見ファッショントマトを
思われる表紙イラストは、これまでのいわゆる
「お役所の広報」のイメージを大きく変え
たようです。が、これは、何を奇てらったの
ではなくお役所的なものの穀を破りたい、行
政の枠を抜けたいと思ってのことでした。お
陰様でその反響は大きく「風」の存在を多く
の方々に知っていましたことができました。
とかく、形式的に消極的な印象を持たれがち
な行政ですが、それを変えていくには、自らが、
新しい文化の発信源であり、担い手としての
意識をもって行動していくことが大切だと思
います。平成元年度を迎えて、気持ちも新たに
頑張りますのでよろしくお願いします。

なお、6月号からは、葉祥明さんに表紙を
描いていただくことになりました。

[お詫び]

前号「ひのくに偉人伝」の21ページ4段目14
行の部分に歴史事実と相違する記載があり
ました。

「くまもとの風」愛読者募集

本誌の年間購読を希望される方は、1年分の郵
送料1,500円(250円×6回)分の切手を同封
のうえ、下記へお申し込み下さい。

(随時受付ます)

〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号
熊本県広報課「くまもとの風」係
▲096-382-9780

C O N T E N T S

- 1-4 特集－春の野山を歩く－
- 5-6 風のコンパス
- 7-8 びーぶる～若木みどりさん～
- 9-10 鶴田一郎 表紙コレクション
- 11-12 県庁探険隊～第6回木材流通対策室～
- 13-14 シーン'89
- 15-16 30minutesトーキング～栗原小巻さん～
- 17-18 ふるさと紀行～～の宮町・阿蘇高瀬～
- 19-20 ウォッキング元気図鑑～龍ヶ岳町～
- 21-22 ひのくに偉人伝～佐々友房～
- 23-24 Information
- 25 街角便り
- 26 メディアMIX～RKKラジオ～



こんにちには、RKKラジオ『ふれあいくまもと』の西谷裕子です。朝7時

40分からの4分間。地域の情報や人物など、とにかく身になる情報をを目指しています。どういうふうに、4分間に面白さを感じとってもらえるだろうか。その人、その地方ごとの面白さってありますよね。話を伺っているうちに、つい夢中になって…。よく時間オーバーしたりすることもあるんです。そういう意味では、4分間というのは長いようでいて、とても短いんです。

この番組を聞いているのは、ドライバーとか、料理をしている家庭の主婦。ながら族が多い。だから、そのながら族に印象を与えるものでなければなりません。雑談から面白い話をつかまえるという出たとこ勝負みたいな面もありますけど、それだけではダメ。ワンポイントをどこに絞るかが問題です。広く浅くではなく、ワンポイントを深く掘り下げていく…そういう姿勢でやっています。4分となるべくエンジョイしてもらえるものにしたいですものね//

取材を通じて、いつも思うことなんですが、熊本には隠れた良さがたくさんあるんです。それが埋もれてしまって…。だから、ぜひこの番組を通して、もっともっと自分のところをPRして欲しい。それによって、思いもかけない素晴らしいことが発見できるかもしれません。「こんなことをしている人がいるよ」「こんな面白いところがあるよ」あなたの発見をどんどんお待ちしてます//



▲果樹園のいろんな所を回っているんですが、いちばん嬉しいのは、やぱり早く迎えてくれた人たちのあつたかいのばですね。

一身になる情報、 いつぱい!

RKKラジオ 西谷裕子



RKKラジオ 「ふれあいくまもと」

毎週月曜日～土曜日7:40～7:45

- 月/人物紹介
- /地域情報
- △/県政情報
- ◎/生活情報
- ㊀/月の最終日/我が校紹介
- ㊁/うちの課こんな課
- 月の第2・第4㊂/旅

●広報メディアMIX

「手紙」 奥村さき子(43才主婦/熊本市)

わが家はそろって手紙が大好き。電話ももちろん楽し
いけれど、時を構わず、何の前触れもなくズカズカと
上がりこまれるようで、私はあまり好きになれません。
そぞくくと手紙は、書くのは言うまでもなく、届いた
便りにハサミを入れる時のワクワク気分といったら！
もう、たまりません。嬉しい手紙は二・三日バッグに
入れて持ち歩き、幾度も何度も読み返します。
小学生の娘にも、切手、葉書、便箋を与えております
が、今風のイラスト入り手紙をせっせと書き送ってい
る様子。これからは、ますます手っとり早い電話が「幅」
をきかせるでしょうが、やはり手紙でなければ味わえ
ない楽しみもたくさんあります。私は、これからも、
大いに手紙を書くつもりです。



「わが町、水俣」 中村奈智代(43才主婦/水俣市)

昨年、紅葉にはもう過ぎる頃、
いとこが一泊だけの休暇をとり神戸より水俣へ遊びに来ました。新妻と、昨年6月に生まれた愛娘に、
父親が幼少時代に過ごした故郷を見せておきたいと思
ったのでしょう。さて、時間もなく紅葉もない。これ
といった計画もなかったので、長年住む水俣の町をよく
調べてみました。すると、水俣には見どころがいっぱい。
湯ノ鬼海岸・蘇峰記念館や文学散歩道をのんび
り歩いた後、海の幸 Discover Minamata。大喜び
で帰路についた休日でした。何もない休日は、家でゴ
ロゴロより、いつでも行けると思っている我が町探索
もいいものですね。



お便り募集/

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・
風景・感想など)を二百～四百字程度にまと
めてお送りください。
(採用された方には「風テレホンカード」を
プレゼント)

HOTLINE

街角便り

「香港レディースモニターツアー に参加して」

上田歳子(53才主婦/五和町)

熊本空港からドラゴン航空機に塔乗するとエキゾチックなスチュワーデスに迎えられ、機内はもう外国気分。片言英語を交わしているうちに香港に着きました。香港の観光のポイントは、百万ドルの夜景、きらびやかな水上レストラン、登山電車と眺望で有名なビクトリアピーク、林立する高層ビル群等沢山あります。しかし何と言っても香港の最大の魅力は買物。通りから路地の隅々まで商店がひしめき合い、世界一流のブランドからガラクタの類まで無いものは無いと言う感じです。また香港は食文化の縮団と言われており、地域によつて異なるいろいろの中華料理を満喫しましたが、なかでも北京ダックと飲茶(ヤムチャ)の味は忘れられません。熊本空港発着の週2回の定期チャーター便のおかげで3時間で行ける香港。中国返還前の今、一度お出かけになりませんか。



●あて先
〒862 熊本市水前寺6丁目18-1
熊本県広報課「くまもとの風」係
□(096)382-9780

たくさんのお便りをお待ちしています。